

施工説明書

TOTO
リモデル便器

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表 示	意 味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

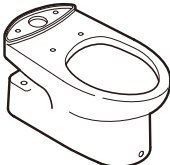
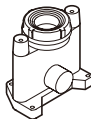
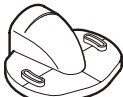
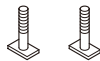
	 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--	---	---

 注意

	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。
	フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉め、タンクの水を流してから行う 水圧でフィルターが飛び出してくることがあります。

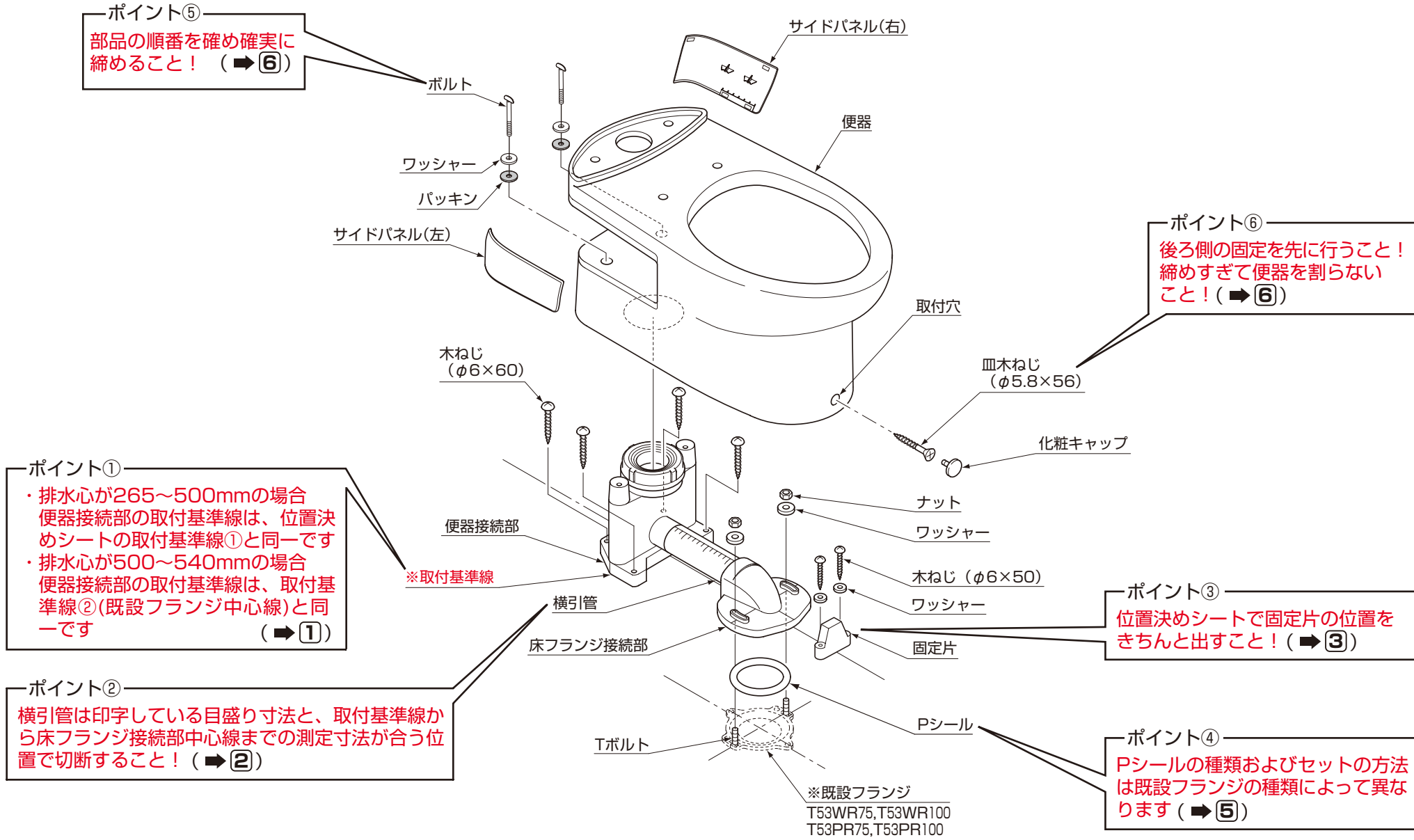
同梱部品

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

便器本体		排水アジャスター		
		便器接続部	横引管	床フランジ接続部
 (1個)		 (1個)※ゴムジョイント付き	 (1個)	 (1個)
Pシール		化粧キャップ袋		その他
金属フランジ用	樹脂フランジ用			
 【補修品番：TH633】 (1個)	 【補修品番：TH633-3】 (1個)	 化粧キャップ 【補修品番：H260】 (1個)	 ボルト (2本)	 施工用型紙 (1枚)
		 パッキン (2個)	 ワッシャー (後部固定用) (φ22：2個)	 施工説明書 (1枚)
化粧パネル		固 定 金 具		
 サイドパネル (右)(1個)	 木ねじ (便器接続部用) (φ6×60：4本)	 木ねじ (固定片用) (φ6×50：2本)	 ワッシャー (固定片用) (φ13：2個)	 固定片 (1個)
 サイドパネル (左)(1個)	 皿木ねじ (φ5.8×56：1本)	 Tボルト (2本)	 ナット (2個)	 ワッシャー (床フランジ接続部用) (φ22：2個)

※「」の部品は補修部品として、購入できます。

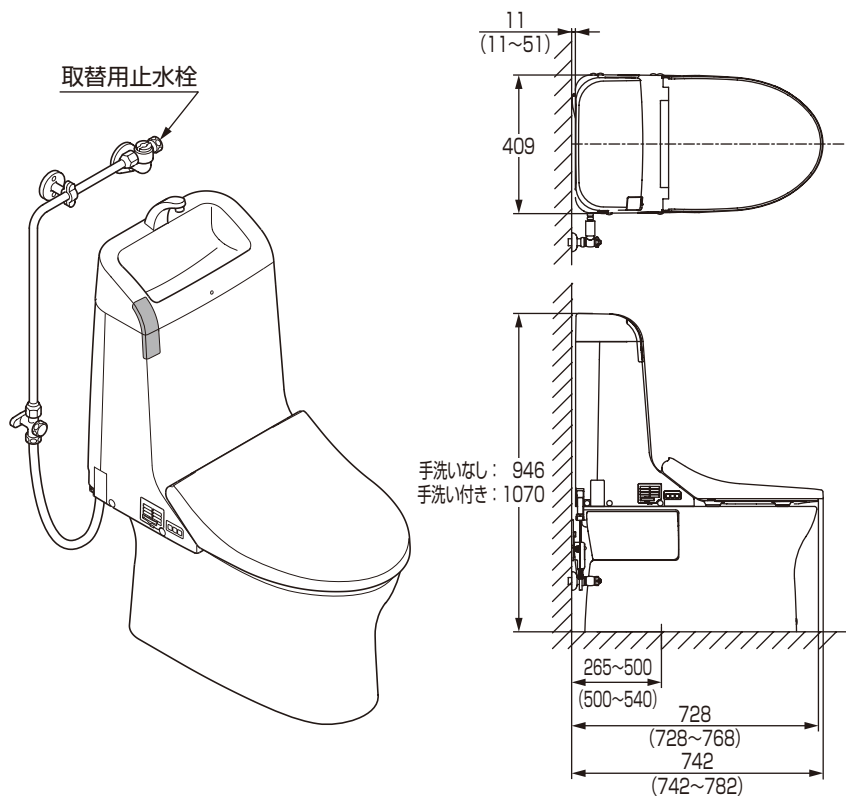
各部のなまえと施工のポイント



完成図

〈取替用止水栓がタンクと接触しない場合〉

(単位：mm)

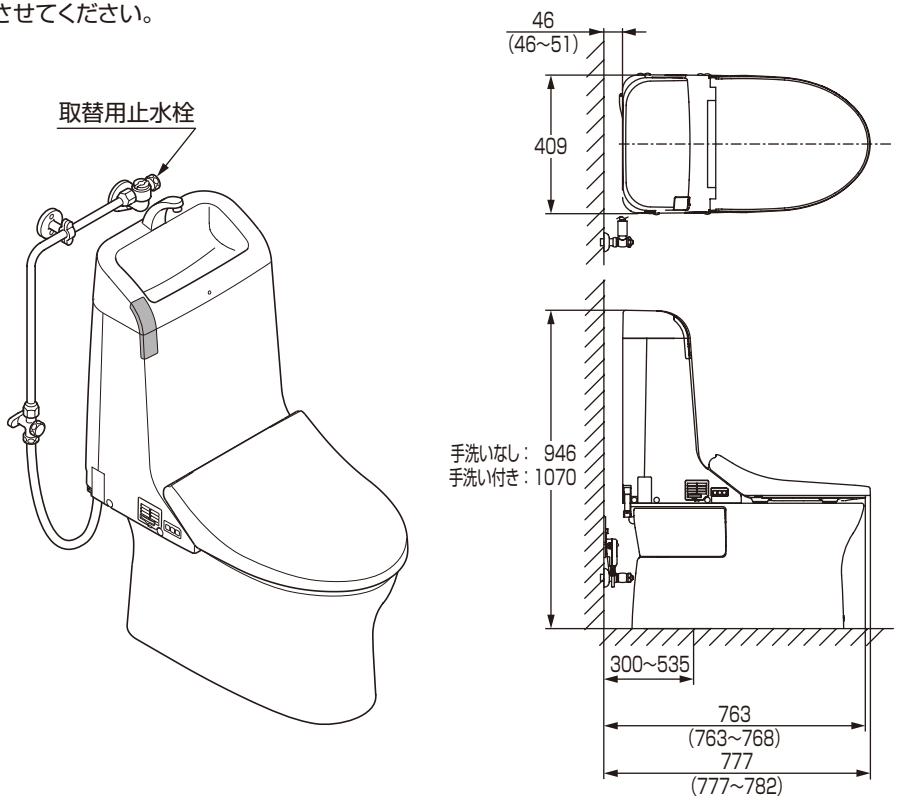


※ () 寸法：排水心が500mm~540mmの場合については、便器を前に出して施工となります。

〈取替用止水栓がタンクと接触する場合〉

(単位：mm)

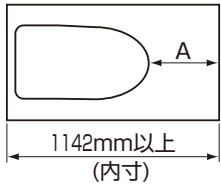
この範囲(斜線部)の場合は、タンク背面と壁との距離が46mm以上になるよう、便器を手前に移動させてください。



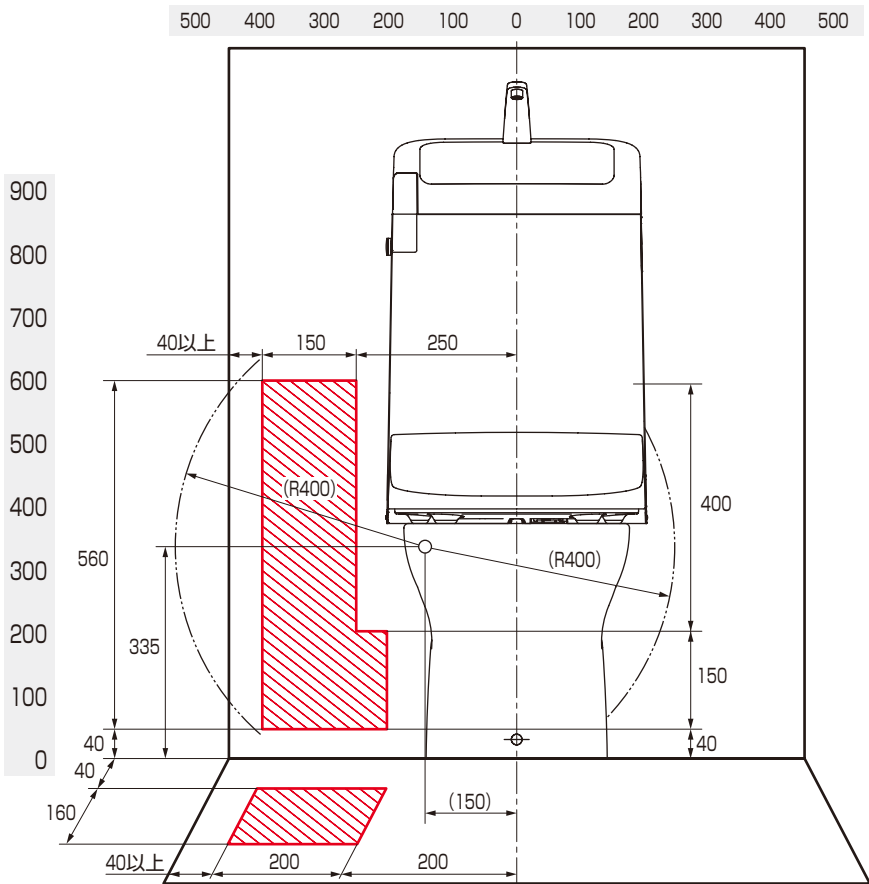
施工前のご注意

- 注1. 止水栓取付位置がタンクの裏側にありタンクと接触する場合は、便器を壁から離す必要があるため、対応可能排水心ならびにトイレブース奥行き必要寸法が異なります。
- 注2. A寸法は標準400mmとなっておりますので、この寸法を確保できない場合は、狭くなることを事前にお客様にご了承いただいたうえ、設置願います。
- 注3. ドアの開閉に支障のないことをご確認ください。

〈トイレブース奥行き必要寸法〉



■取替対応可能給水位置



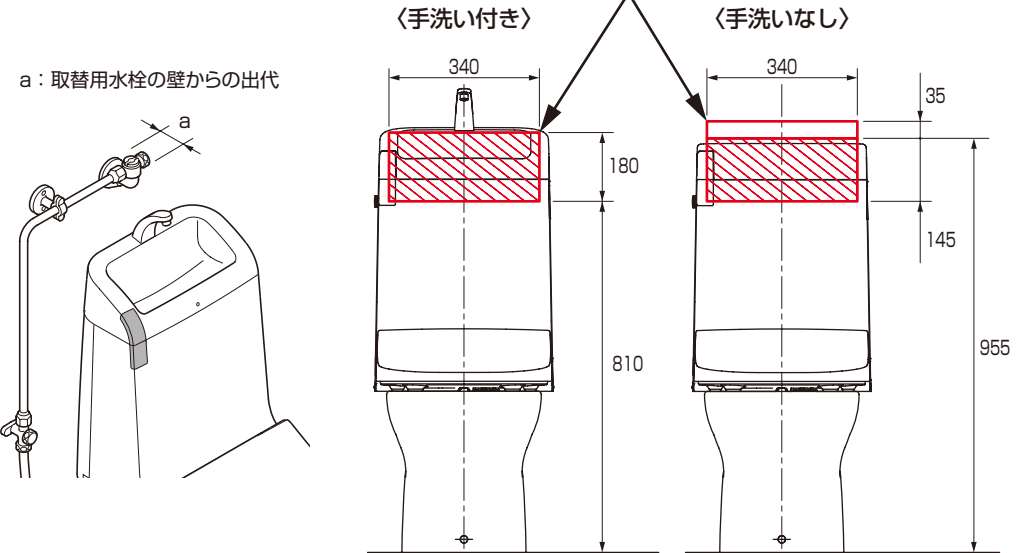
※標準の給水ホース(400mm)で施工できる範囲です。
右給水および上記範囲以外の場合は、長さ違いの給水ホースを別途現場手配いただくことになります。

■〈壁〉C14、C21、C21Rからの取り替えの場合

(単位：mm)

既設の給水位置が、下図斜線部にある場合には、取替用止水栓品番：TS91F1UAXを別途現場手配いただくことになります。

この範囲(斜線部)の場合は、タンク背面と壁との距離が46mm以上になるよう、便器を手前に移動させてください。



※取替用止水栓がタンクの背面にくる場合については、取付基準線の位置が変わりますのでご注意ください。

(例) 止水栓の出代 a = 35mmの場合、
(標準位置：130) + (a：35) = 165mm (取付基準線の位置①参照)

取付方法

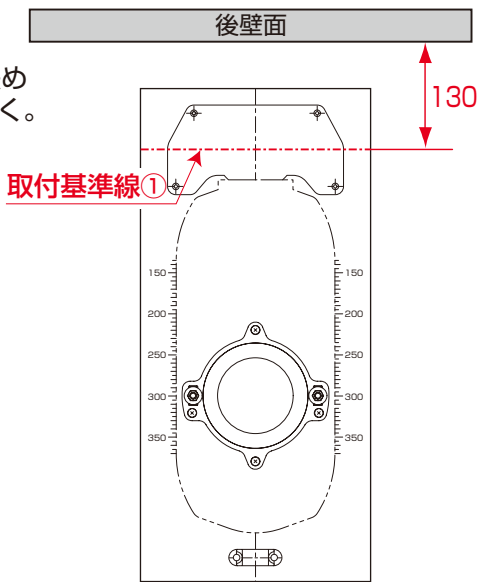
1 位置決めシートの位置決め

(単位：mm)

■排水心265～500mmの場合

後壁面から130mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。

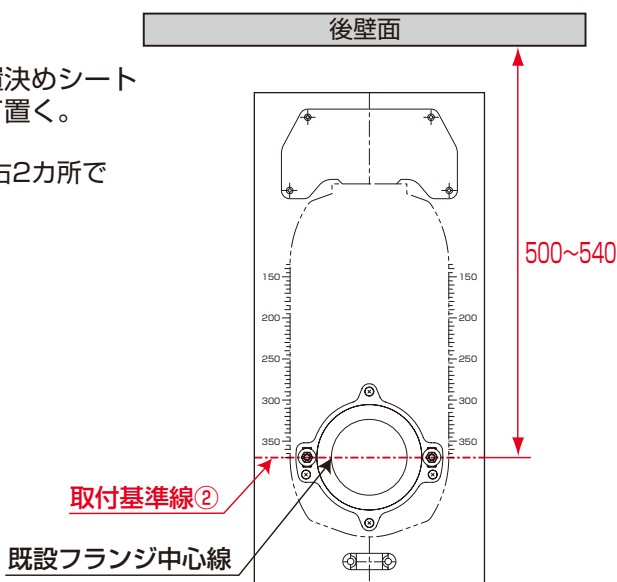
※取付基準線の位置決めは左右2カ所で行ってください。



■排水心500～540mmの場合

既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。

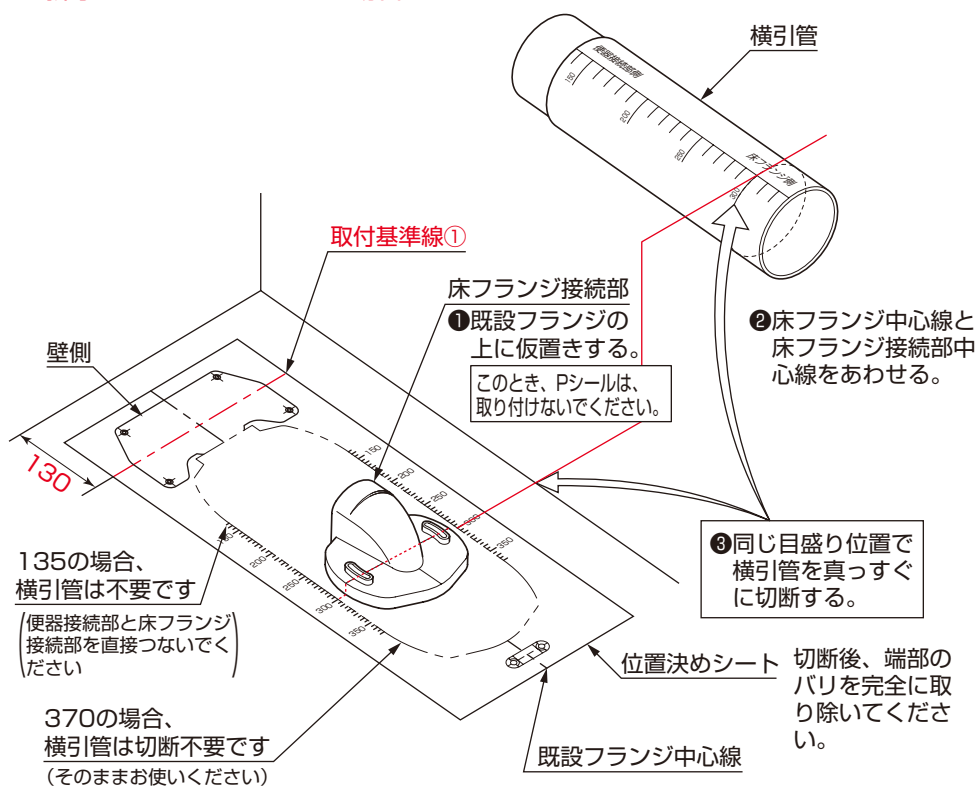
※取付基準線の位置決めは左右2カ所で行ってください。



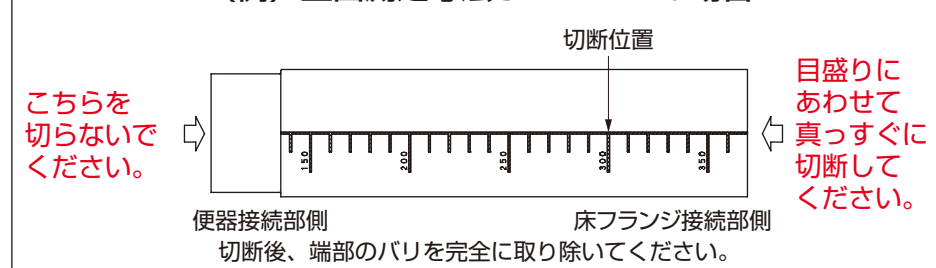
2 横引管の切断

■排水心265～500mmの場合

(単位：mm)



(例) 上図測定寸法が300mmの場合



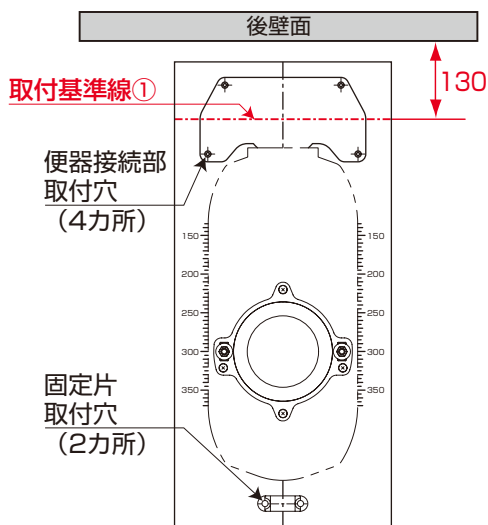
■排水心が500～540mmの場合、横引管は切断不要です。そのままお使いください。

3 位置決めシートで取付穴位置をけがく

(単位：mm)

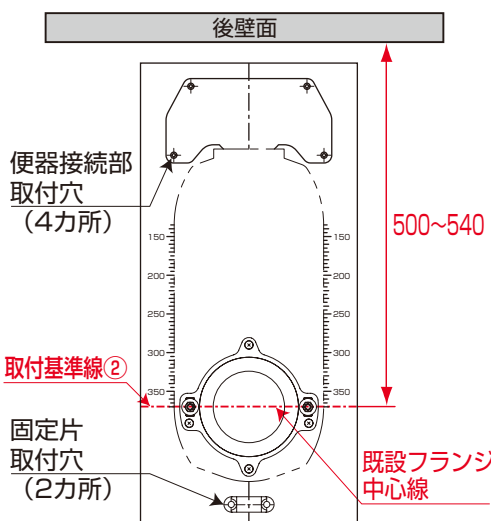
■排水心265～500mmの場合

①後壁面から130mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。



■排水心500～540mmの場合

①既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。



②位置決めシートを所定の位置に置き便器接続部取付穴位置と固定片取付穴位置をけがく。
※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業しやすくなります。

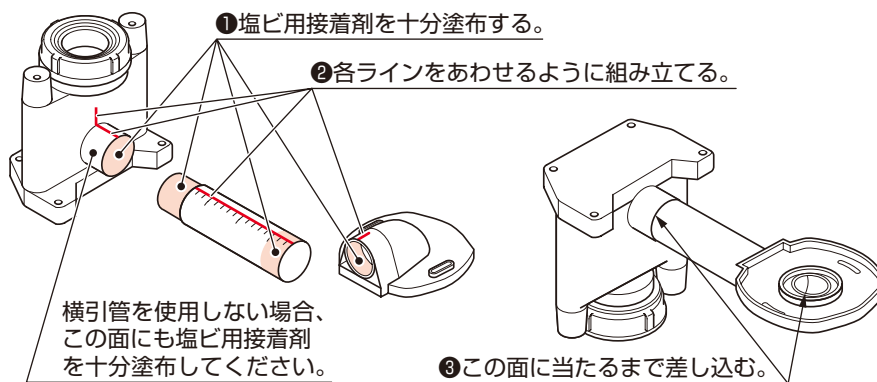
4 排水アジャスターの組み立て

⚠注意



必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分だと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



5 固定片・排水アジャスターの取り付け

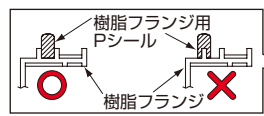
⚠ 注意

Pシール取り扱い上の注意

- ・既設の床フランジのタイプにあわせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用する
- ・既設のフランジタイプによって、Pシールの取付方法が異なるので注意する

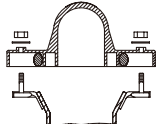
Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

(樹脂フランジ用)
Pシールは必ずフランジ側にセットしてから、床フランジ接続部(排水アジャスター)を上から押し付けてください。



Pシールは溝にきちんと取り付けてください。

(金属フランジ用)
Pシールは必ず床フランジ接続部(排水アジャスター)にはめてから、フランジに押し付けてください。



必ず実行

①<樹脂フランジの場合>

Pシール(樹脂フランジ用)をフランジにセットする。

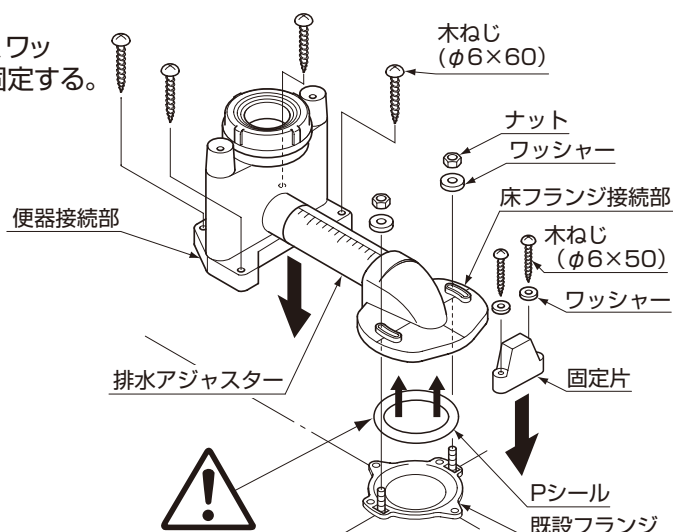
<金属フランジの場合>

Pシール(金属フランジ用)を排水アジャスターにセットする。

②排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴(4カ所)に木ねじを入れ、確実に締める。

③床フランジ接続部(排水アジャスター)を、ワッシャー・ナットでフランジに固定する。

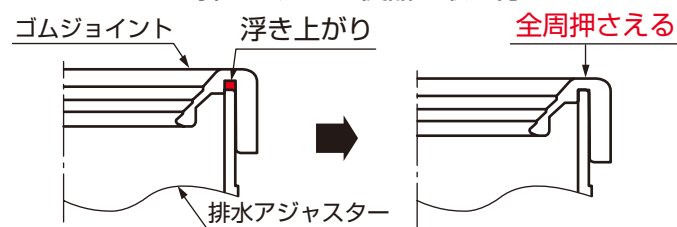
④固定片を所定の位置に、ワッシャー・木ねじで床に固定する。



6 便器の取り付け

⚠ 注意

便器を取り付ける前に、ゴムジョイントが排水アジャスターにきちんと取り付けられていることを確認する
きちんと取り付けしていないと水漏れするおそれがあるので必ず、ゴムジョイントを押さえ込んで便器を取り付ける



便器後部の固定を必ず先に行うこと

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れするおそれがあります。

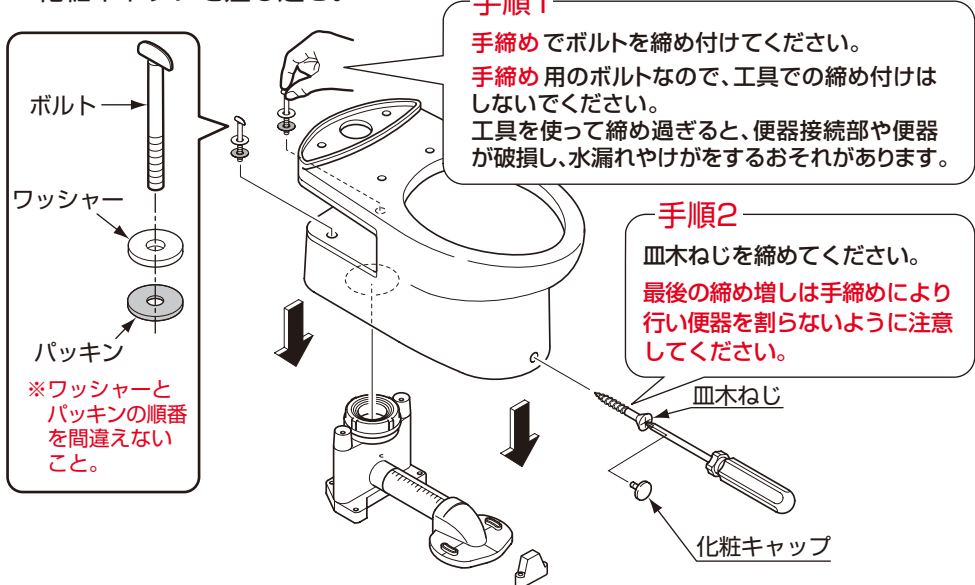


必ず実行

①便器排水口および排水アジャスターの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水アジャスターに差し込む。

②便器後側の取付穴(2カ所)にボルト・ワッシャー・パッキンを差し込み、便器接続部に便器を固定する。

③便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップを差し込む。



手順1

手締めでボルトを締め付けてください。
手締め用のボルトなので、工具での締め付けはしないでください。
工具を使って締め過ぎると、便器接続部や便器が破損し、水漏れやけがをするおそれがあります。

手順2

皿木ねじを締めてください。
最後の締め増しは手締めにより行い便器を割らないように注意してください。

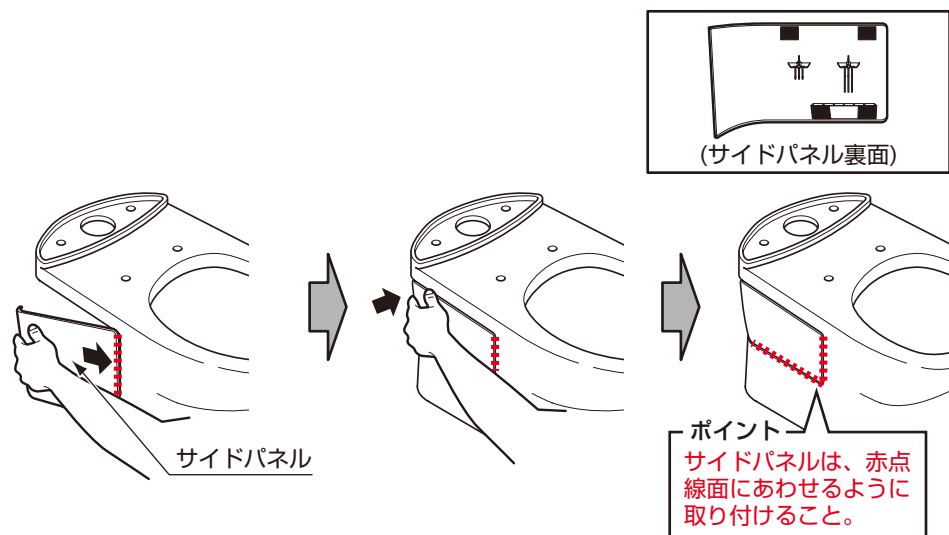
7 ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けに当たっては、ウォシュレットに付属の施工説明書に従う。

8 サイドパネルの取り付け／取り外し

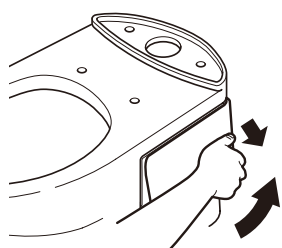
<取り付けかた>

- ①パネルを手前(イラスト参照)にあわせてセットする。
- ②パネルをセットしたあと、面ファスナーの上を手で軽く押し当てる。



<取り外しかた>

サイドパネル後方を持ち外す。



9 タンクの取り付け

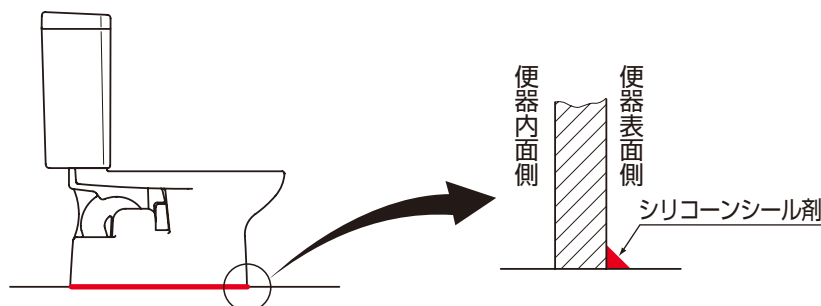
タンクの取り付けに当たっては、タンクに付属の施工説明書に従う。

取り付け後の確認

- ・試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。
もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがいないことを確認してください。
陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめいたします。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。